

北名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂の骨子(案)について

1 改訂の背景と基本的な考え方

◎本市では、2016年2月に「北名古屋市人口ビジョン」及び「北名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、4つの基本目標を掲げ、地方創生の取組を進めてまいりました。また、2020年3月には、第1期総合戦略の基本的枠組みを継承しつつ、施策の内容などを見直し、第2期「北名古屋市まち・ひと・しごと総合戦略」を策定しました。

◎一方、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に生じた、人々の意識や行動の大きな変化に対応するためには、これまでの取組に加えデジタルの力を活用した、地方創生の加速化・深化が必要となっています。

◎本市の人口は、令和元年ごろまで順調に増加していたものの、令和2年度以降は概ね横ばいで推移しています。日本人・外国人別でみると日本人は令和2年度以降減少傾向にあるものの、外国人はコロナ禍の影響を受けたものの、増加傾向となっています。

◎なお、本市の合計特殊出生率は1.8となっており、県内でも5番目に高い数値となっています。

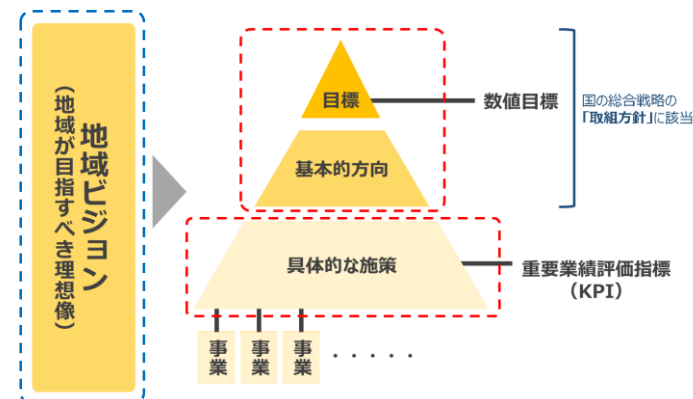
◎本市においても近い将来、人口減少局面に入ること避けられないものの、人口減少に歯止めをかけつつ、誰もが安全安心に暮らせるまちづくりを進める必要があります。

◎そのために、デジタルの力を活用することや性別や国籍などに関わらず多様な主体による共創のまちづくりの取組をより重視していきます。

◎本計画名称については国や県の考え方に基づき、「北名古屋市デジタル田園都市構想総合戦略」に改称します。

2 地域ビジョンの設定

総合戦略の構成イメージ (「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」より)



◎第2期総合戦略におけるめざすべき将来の方向 (「北名古屋市人口ビジョン」より)

- ・人口減少に歯止めをかける
- ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・転出の抑制、転入の促進
- ・まちの魅力を高める

めざすべき将来の方向

- 結婚・出産・子育てしやすい環境づくり
- しごとづくり
- まちの魅力づくり
- 住み続けられるまちづくり

めざすべき将来の方向は踏襲しながら、人々の行動や意識の変化を踏まえ、より分かりやすく、明確なビジョン

NEW

地域ビジョン

- デジタル技術を活用した安全で快適なまち
- みんなでつくる誰もが暮らしやすい共創のまち

北名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂の骨子(案)について

3 横断的な視点

人々の意識や行動の大きな変化に対応するため、各基本目標を補完する横断的な視点として、

○デジタル技術の活用
○共創によるまちづくり

を位置付けます。

- (基本目標1)
特性を生かした「しごと」をつくる
- (基本目標2)
魅力で「新しい人の流れ・にぎわい」を生み出す
- (基本目標3)
若い世代の「結婚・出産・子育て」の希望をかなえる
- (基本目標4)
安心な暮らしを守り住み続けられる「まち」をつくる

基本目標1 北名古屋市の特性を生かした「しごと」をつくる

【基本的方向(要旨)】

- ・新たな雇用創出につながる企業の誘致
- ・地域密着型の商工業やサービス業などの既存産業の育成、農業の活性化
- ・外国人材の受け入れに向けた環境整備
- ・スタートアップ・エコシステムの確立支援

基本目標2 北名古屋市の魅力で「新しい人の流れ・にぎわい」を生み出す

【基本的方向(要旨)】

- ・大学や各種団体・企業との連携による様々な催し
- ・本市が有する魅力を効果的に発信
- ・女性や若者に選ばれる地域づくり

基本目標3 北名古屋市の若い世代の「結婚・出産・子育て」の希望をかなえる

【基本的方向(要旨)】

- ・多様化する保育ニーズに対応したサービス体制の強化
- ・保育施設の整備、子育て家庭と地域・団体の連携による子育ての推進、不安や悩みを解消するための相談体制の強化、特色ある教育の推進
- ・保育・教育におけるDX推進

基本目標4 北名古屋市の安心な暮らしを守り住み続けられる「まち」をつくる

- ・自然災害に強い都市基盤の整備や環境改善のための下水道の整備
- ・地域の人をつなぐ仕組みづくり
- ・デジタル技術を活用した地域防災力・地域公共交通の強化

4 目標と基本的方向

基本目標については、前提となる人口ビジョンの見直しを行わないことから、第2期総合戦略を踏襲しますが、基本的方向や各施策には、横断的な視点を踏まえたポイントを追加します。

～KEYWORD～

OSDGs OSociety5.0 O民間との連携 O多文化共生 Oインバウンド

NEW

OWith/Afterコロナ O多様な主体との連携・協働

5 今後の予定

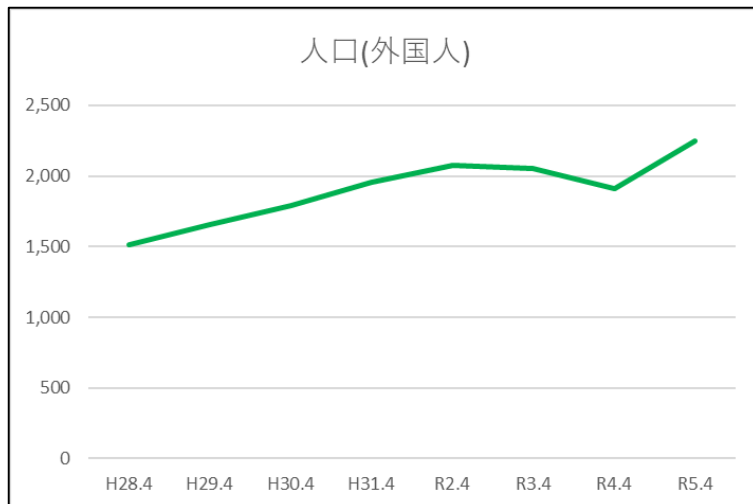
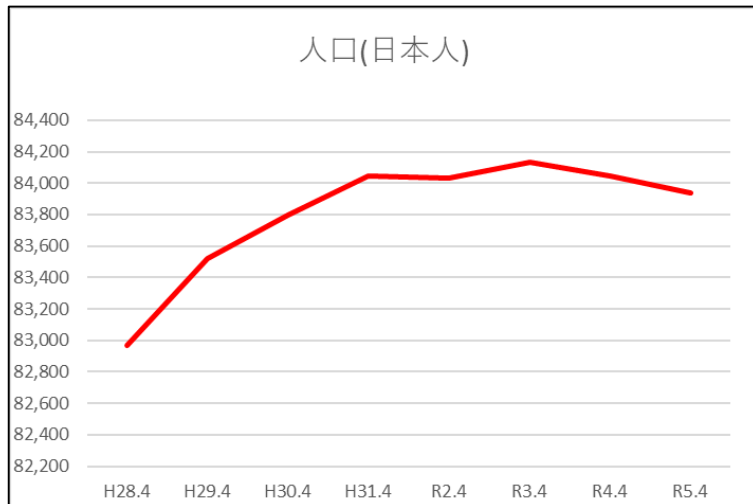
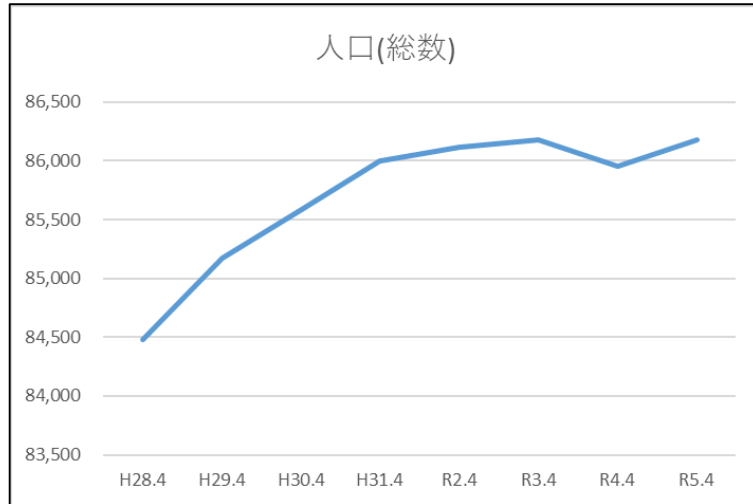
令和5年9月 行政改革推進委員会 (骨子について諮問)

12月 行政改革推進委員会 (素案について諮問)

令和6年1月～ 素案に関するパブリックコメント

3月 行政改革推進委員会 (最終案について諮問)

人口動向



市住民基本台帳

人口増減 愛知県人口動向調査 2021.10~2022.9

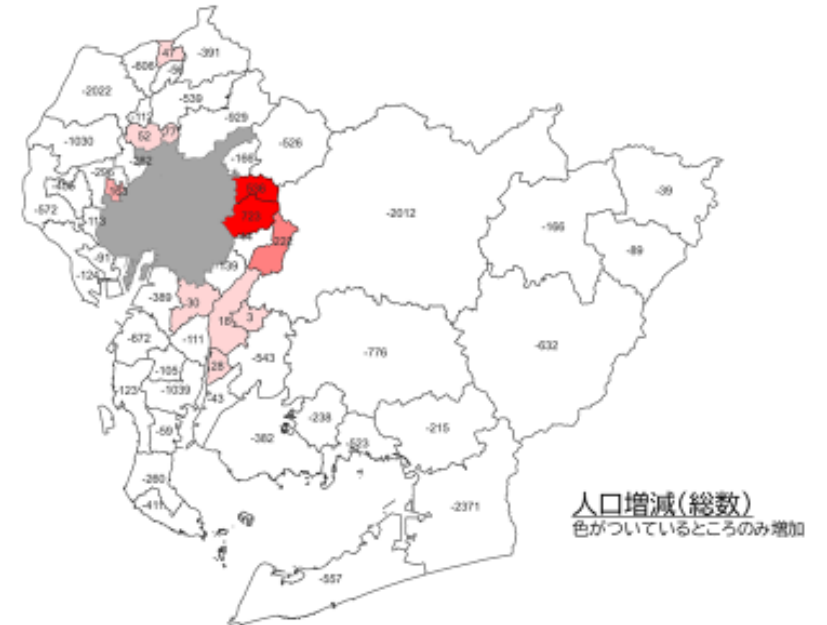
R3.10~R4.9の一年間で本市の人口は**52人増加**↑。

県内で人口増加しているのは**11市町のみ**。(名古屋市除く)

順位	市町	増減(総数)
1	日進市	723
2	長久手市	536
3	みよし市	222
4	大治町	163
5	豊山町	77
6	北名古屋市	52
7	扶桑町	47
8	大府市	30
9	高浜市	28
10	刈谷市	18
11	知立市	3
49	稲沢市	-1030
50	半田市	-1039
51	豊田市	-2012
52	一宮市	-2022
53	豊橋市	-2371

順位	市町	増減(割合)
1	長久手市	0.878%
2	日進市	0.779%
3	大治町	0.498%
4	豊山町	0.490%
5	みよし市	0.357%
8	北名古屋市	0.060%
49	稲島村	-2.060%
50	南知多町	-2.603%
51	東栄町	-3.233%
52	設楽町	-3.984%
53	豊根村	-4.136%

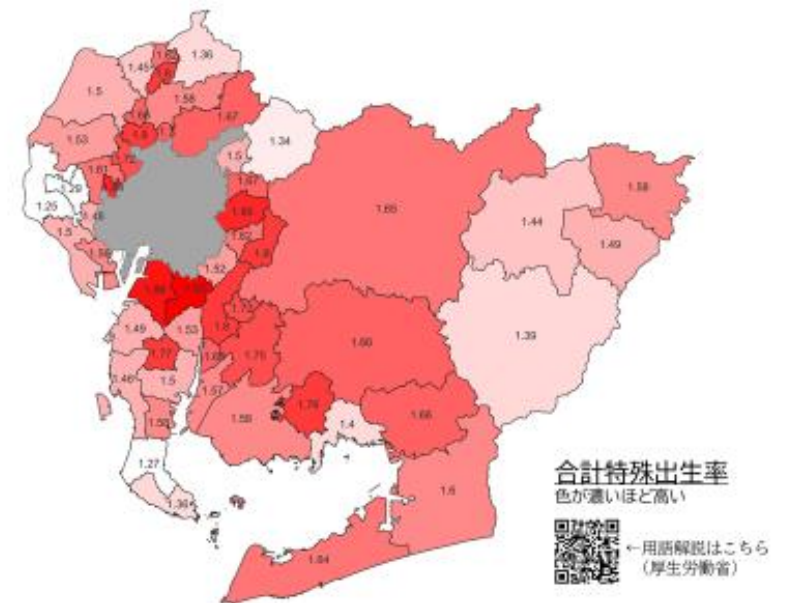
人口に対する割合



合計特殊出生率 25~29 厚生労働省 人口動態統計特殊報告

本市の合計特殊出生率は**1.8**。
県内では**5番目**に高い値である。

順位	市町	合計特殊出生率
1	大府市	1.93
2	東海市	1.86
3	大治町	1.85
4	日進市	1.85
5	刈谷市	1.80
6	北名古屋市	1.80
49	犬山市	1.36
50	瀬戸市	1.34
51	津島市	1.29
52	美浜町	1.27
53	豊西市	1.25



(国)総合戦略の基本的な考え方

- ・全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会
- ・東京圏への過度な一極集中の是正や多様化を図る
- ・地方の社会課題を成長の原動力とする

施策の方向

デジタルの力を活用した**地方の社会課題解決**
 デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- ①地方に仕事を作る
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX 等
- ②人の流れを作る
「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大 等
- ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる
結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり 等
- ④魅力的な地域をつくる
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX 等

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を**国が強力に推進**

- ①デジタル基盤の整備
デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大 等
- ②デジタル人材の育成・確保
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化 等
- ③誰一人取り残されないための取組
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現 等

(県)総合戦略の基本的な考え方

- ・人口減少に歯止めをかけ、安心・快適に暮らせる社会を構築
- ・若者の東京圏への流出を抑制、還流する取り組みを推進
- ・県内各地域ごとの方向性や具体的な施策を示し地域活力を維持

重視すべき視点

- 視点1 デジタルの活用
- 視点2 SDGsの重視
- 視点3 With/Afterコロナを見据えた取組の推進
- 視点4 多様な主体との連携・協働

基本目標

- 基本目標① 結婚・出産・子育て環境づくり
- 基本目標② 人の流れづくり
- 基本目標③ しごとづくり
- 基本目標④ 魅力づくり
- 基本目標⑤ 暮らしの安心を支える環境づくり
- 基本目標⑥ 活力ある地域づくり
- 基本目標⑦ 県全体のデジタル化の推進